



Nipponham Group  
たんぱく質を、もっと自由に。



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 日本ハム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 畑 佳秀  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理財務部長（氏名） 長谷川 佳孝 (TEL) 06-7525-3042  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け説明会)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	986,103	10.0	24,725	△44.0	25,174	△48.7	19,473	△47.1	19,219	△47.7	23,776	△34.9
2022年3月期第3四半期	896,129	-	44,130	0.5	49,109	-	36,778	32.8	36,747	28.9	36,545	22.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2023年3月期第3四半期	円 銭 187.70	円 銭 187.68
2022年3月期第3四半期	円 銭 359.45	円 銭 359.36

(注) 事業利益は売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

(注) 前第4四半期連結会計期間より、マリンフーズ株式会社及び同社の子会社などに関連する水産事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの損失は、要約四半期連結損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上高、税引前四半期利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、対応する2022年3月期第3四半期についても同様に組替えて表示しているため、これらの前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2023年3月期第3四半期	百万円 984,219	百万円 503,386	百万円 492,669	% 50.1
2022年3月期	909,213	489,554	479,069	52.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 102.00	円 銭 102.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	円 銭 110.00	円 銭 110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		事業利益		税引前当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,270,000	8.1	22,000	△54.3	22,000	△57.2	17,000	△64.6	165.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、 除外 -社 (社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	102,958,904株	2022年3月期	102,958,904株
2023年3月期3Q	498,718株	2022年3月期	633,488株
2023年3月期3Q	102,394,193株	2022年3月期3Q	102,231,251株

(注) 期末自己株式数には、役員向け業績連動型株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2023年3月期3Q 131,403株、2022年3月期137,759株) が含まれており、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また、信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入により、期末自己株式数には、日本ハム・グループ従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております (2023年3月期3Q 357,800株、2022年3月期466,200株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記.....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書.....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書.....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書.....	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	11
(6) 継続企業の前提に関する注記.....	12
(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	12
1. セグメント情報.....	12
2. 非継続事業に関する注記.....	13
3. 重要な後発事象.....	14
補足資料.....	補1～補6

※ 当社は、2023年1月31日（火）にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については本日 T D n e t で開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定などについては、当社ホームページをご確認ください。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 業績全般の状況

当第3四半期のおわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、景気に持ち直しの動きが見られました。一方で、世界的な金融引締めが続く中、海外景気の下振れが国内の景気を下押しするリスク要因となっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の不安定さなどの影響や、中国における感染状況に十分注意する必要があることから、不透明な状況が続きました。

当業界におきましては、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇、急激な円安進行の継続など事業環境が大きく変化しており、かつてない厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループは、「2030年におけるありたい姿」として掲げたニッポンハムグループ、「Vision2030」「たんぱく質を、もっと自由に。」の実現に向けて事業展開を推進してまいりました。

当第3四半期におきましては、継続する原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇及びこれらの影響で各種商品の値上げが家計を直撃したことにより、消費者の節約志向・低価格帯へのシフトが進みました。これに対して、販売価格への転嫁、商品の規格変更、節約志向に対応するための低価格商品の調達、ブランド商品の拡販、エネルギーコストの上昇を吸収するための節電対策や生産部門の効率化などに取り組みながら、引き続きお客様へ安全・安心で高品質な商品をお届けするため、生産、物流、営業体制の強化を図りました。

加えて、AIを用いた豚の健康や発情状況を判定するスマート養豚システム「PIG LABO」の製品化に向けた取組み、経営基盤強化のためのDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進、最適なポートフォリオ構築に向けた取組みを行ってまいりました。

グループ横断の施策については、サステナブルなビジネスモデルへの変革及びシナジー最大化のための事業横断戦略として「物流」「営業」「自由貿易協定対策」のプロジェクトを推進しました。

経営体制については、「ニッポンハムグループ・コーポレートガバナンス基本方針」に沿って、その充実に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主として食肉事業及び海外事業において価格転嫁が進んだことにより、対前年同期比10.0%増の986,103百万円となりました。事業利益は、節約志向による需要減少、原材料やエネルギーコストなどの大幅な上昇分を全て吸収することができず、対前年同期比44.0%減の24,725百万円、税引前四半期利益は、事業利益の減少などの影響で対前年同期比48.7%減の25,174百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は対前年同期比47.7%減の19,219百万円となりました。

#### セグメントの概況

##### (加工事業本部)

加工事業本部全体においては、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の緩和などにより業務用商品が伸長しましたが、価格改定後の商品動向の変化からコンシューマ商品が減少し、売上げは前年を下回りました。また国際的な穀物や原油相場の上昇、円安の進行などから、想定を上回る原材料価格や燃料費の上昇に伴い、厳しい収益環境となりました。

ハム・ソーセージ、デリ商品事業のハム・ソーセージ部門の売上げにおいては、業務用商品がCVSチャンネル向けで前年を上回りましたが、コンシューマ商品は主力の「シャウエッセン」で若手タレントを起用したTVCMを導入したことで購買層が拡大し回復基調にあるものの、上期までの落込みをカバーできずに前年を下回りました。デリ商品部門の売上げにおいては、業務用商品が外食チャンネル向けで前年を上回りましたが、コンシューマ商品は、主力の「チルドベーカリー」がスナック需要の拡大から好調に推移したものの、「中華名菜」の減少により前年を下回りました。

歳暮ギフト商戦においては、「鎌倉ハム」や惣菜系ギフトが大きく伸長しましたが、主力の「美ノ国」「本格派」が減少し、前年を下回りました。

エキス・一次加工事業の売上げにおいては、一次加工事業部門は、未加熱加工品の販売は中食チャンネル向けが減少し前年を下回りましたが、エキス部門は、外出自粛の緩和に伴いラーメン店を中心とした外食

チャンネル向けスープや、CVSチャンネル向け業務用ソースが好調に推移しました。

乳製品事業のチーズ部門の売上げにおいては、主力の業務用商品が外出自粛の緩和に伴い外食チャンネル向けが伸長し、前年を上回りました。また、ヨーグルト・乳酸菌飲料部門は、コンシューマ商品の主力「バニラヨーグルトシリーズ」でドリンクタイプを投入しましたが、既存品の価格改定後の商品動向の変化による量販店チャンネル向け売上げ減少をカバーできず、前年を下回りました。

加工事業本部全体の利益につきましては、売上げ減少や原材料価格、燃料費などが上昇となったことに加え、DX構築に向けた先行費用が増加したことで減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比 16.2%減の 320,820 百万円、事業利益は対前年同期比 57.5%減の 6,002 百万円となりました。

#### (食肉事業本部)

国内事業においては、第2四半期連結累計期間に続き飼料価格及び燃料費・電力費高騰の影響を大きく受けました。外部ネットワークによる調達量強化や国産牛輸出増加などに努めましたが、国産豚・牛では拠点再編計画により自社処理量が減少、国産鶏では鳥インフルエンザ発生影響により出荷量が減少しました。その結果、豚肉、鶏肉の相場堅調によって売上げは前年を上回りましたが、減益となりました。

輸入調達部門においては、生産国での相場上昇、為替影響により調達価格は第2四半期連結累計期間よりもさらに上昇しました。調達先との関係強化や、低価格商品の調達・販売などに努めましたが、価格上昇による国内需要の低下や、入船遅延などで供給が不安定となり販売活動に影響しました。その結果、販売単価上昇によって売上げは前年を上回りましたが、大幅な減益となりました。

販売部門においては、消費者の節約志向の高まりなどで量販店の需要減少が見られましたが、国産鶏肉「桜姫」の20周年キャンペーン実施や量販店に特化した組織体制整備により販売量の維持に努めました。外食チャンネルの復調に伴い、エリアごとに外食専門組織を立ち上げ提案強化をした結果、売上げ・利益ともに前年を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比 9.1%増の 570,190 百万円、事業利益は対前年同期比 25.9%減の 22,566 百万円となりました。

#### (海外事業本部)

アジア・欧州事業においては、タイ、中国での加工品販売、欧州での豚肉輸出が苦戦しましたが、トルコでの鶏肉販売が堅調に推移し、全体では売上げは前年を上回りました。利益につきましては、タイ、中国における数量減や加工品原料高、またトルコ養鶏事業における継続的な飼料原料高により、減益となりました。

米州事業においては、米国やハワイにおける量販店での加工品販売、チリでの豚肉輸出が堅調に推移したことにより、売上げは前年を上回りました。利益につきましては、米国の加工品原料高が落ち着いたことから、増益となりました。

豪州事業においては、オーストラリアでの牛集荷頭数に苦戦する中、特に内販において販売が順調に推移しました。一方、ウルグアイでは販売価格の低下がありましたが、全体では売上げは前年を上回りました。利益につきましては、工場稼働の効率化などにも取り組みましたが、オーストラリア及びウルグアイで牛集荷価格の高値が継続したことや、販売価格が低調であったことから、大幅な減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の海外事業本部の売上高は対前年同期比 25.7%増の 250,614 百万円、事業損失は 2,670 百万円（前年同期は 2,209 百万円の事業利益）となりました。

#### (その他)

球団事業である北海道日本ハムファイターズにおいては、2022年レギュラーシーズンをパシフィック・リーグ6位で終わりました。新型コロナウイルス感染症の影響が残るシーズンではありましたが、安全・安心な観戦環境を整えた上で各種の動員施策を実施したことにより、昨シーズンを大きく上回る 1,291 千人の観客動員に繋がり、売上げ・利益ともに前年を上回りました。2023年1月に「北海道ボールパーク F ビレッジ」内の新球場「エスコンフィールド HOKKAIDO」に事務所を移転し、2023年3月開業に向けた新たな事業基盤の整備を順調に進めております。

中央研究所で取り組んでいるヘルスサポート事業においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことから食品開発展 2022 に出展し、機能的食品素材、食品検査キットの紹介、セミナーを開催するなど、積極的な対面での販促活動を行い、新規顧客獲得に努めました。

新規事業においては、第1四半期連結累計期間に立ち上げたD to C (Direct to Consumer) の2事業 (エンタメ事業「Meatful」、ウェルネス事業「Table for All」) について会員数を増やしながら直接販売を行いました。今後新たにエシカル事業の立ち上げを計画しており、社会課題解決に寄り添ったサービスを展開してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のその他の売上高は対前年同期比 15.0%増の 13,067 百万円、事業利益は 1,231 百万円 (前年同期は 208 百万円の事業損失) となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 《財政状態》

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ現金及び現金同等物が 19,999 百万円、その他の金融資産が 21,960 百万円それぞれ減少しましたが、営業債権及びその他の債権が 60,789 百万円、棚卸資産が 27,710 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 8.2%増の 984,219 百万円となりました。負債については、前期末に比べその他の流動負債が 3,310 百万円減少しましたが、有利子負債 42,458 百万円、営業債務及びその他の債務が 24,613 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 14.6%増の 480,833 百万円となりました。なお、有利子負債は 253,865 百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は前期末に比べ 13,600 百万円増加の 492,669 百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は 2.6 ポイント減の 50.1%となりました。

### 《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益 25,174 百万円、減価償却費及び償却費 28,352 百万円などがありましたが、営業債権及びその他の債権の増加 60,835 百万円、棚卸資産の増加 27,464 百万円、法人所得税の支払額 13,324 百万円などにより、29,754 百万円の純キャッシュ減となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の減少 8,694 百万円などがありましたが、固定資産等の取得 46,045 百万円などにより、30,932 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、現金配当 10,448 百万円、借入債務の返済 71,305 百万円などがありましたが、短期借入金の増加 12,807 百万円、借入債務による調達 106,468 百万円などにより、37,956 百万円の純キャッシュ増となりました。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 19,999 百万円減少し、65,375 百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年1月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した見通しから変更はありません。

### 将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	85,374	65,375
営業債権及びその他の債権	136,017	196,806
棚卸資産	119,980	147,690
生物資産	32,755	30,678
その他の金融資産	24,648	10,335
その他の流動資産	15,096	27,228
売却目的保有資産	436	488
流動資産合計	414,306	478,600
非流動資産		
有形固定資産	345,022	364,499
使用権資産	46,090	40,934
生物資産	1,240	1,471
無形資産及びのれん	15,269	19,355
持分法で会計処理されている投資	12,410	9,401
その他の金融資産	35,232	27,585
繰延税金資産	26,279	29,683
その他の非流動資産	13,365	12,691
非流動資産合計	494,907	505,619
資産合計	909,213	984,219
(負債及び資本の部)		
流動負債		
有利子負債	90,056	102,681
営業債務及びその他の債務	103,719	128,332
未払法人所得税	6,494	5,280
その他の金融負債	42,056	40,121
その他の流動負債	39,594	36,284
流動負債合計	281,919	312,698
非流動負債		
有利子負債	121,351	151,184
退職給付に係る負債	12,951	13,406
その他の金融負債	754	1,002
繰延税金負債	1,045	974
その他の非流動負債	1,639	1,569
非流動負債合計	137,740	168,135
負債合計	419,659	480,833
資本		
資本金	36,294	36,294
資本剰余金	71,272	71,175
利益剰余金	360,900	370,893
自己株式	△ 2,856	△ 2,255
その他の包括利益累計額	13,459	16,562
親会社の所有者に帰属する持分	479,069	492,669
非支配持分	10,485	10,717
資本合計	489,554	503,386
負債及び資本合計	909,213	984,219
(注) その他の包括利益累計額の内訳	前連結会計年度末	当第3四半期連結会計期間
その他の包括利益を通じて		
公正価値で測定する金融資産	9,639	6,360
在外営業活動体の換算差額	3,820	10,202

## (2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日 ～2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)
売上高	896,129	986,103
売上原価	736,638	845,817
販売費及び一般管理費	115,377	124,262
その他の収益	4,626	14,109
その他の費用	4,604	8,748
金融収益	1,697	2,010
金融費用	2,885	1,402
持分法による投資利益	6,161	3,181
税引前四半期利益	49,109	25,174
法人所得税費用	12,758	5,380
継続事業からの四半期利益	36,351	19,794
非継続事業からの四半期利益(△損失) (法人税等控除後)	427	△ 321
四半期利益	36,778	19,473
四半期利益の帰属		
親会社の所有者		
継続事業	36,195	19,540
非継続事業	552	△ 321
合計	36,747	19,219
非支配持分		
継続事業	156	254
非継続事業	△ 125	—
合計	31	254
四半期利益	36,778	19,473

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	359.45円	187.70円
継続事業	354.06円	190.84円
非継続事業	5.39円	△ 3.14円
希薄化後1株当たり四半期利益	359.36円	187.68円
継続事業	353.97円	190.81円
非継続事業	5.39円	△ 3.13円



## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日 ～2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年10月1日 ～2022年12月31日)
売上高	327,011	352,079
売上原価	268,581	304,035
販売費及び一般管理費	39,875	42,618
その他の収益	3,186	4,708
その他の費用	2,568	8,374
金融収益	310	1,203
金融費用	1,508	615
持分法による投資利益	3,061	535
税引前四半期利益	21,036	2,883
法人所得税費用	4,689	△ 512
継続事業からの四半期利益	16,347	3,395
非継続事業からの四半期利益(△損失) (法人税等控除後)	734	△ 17
四半期利益	17,081	3,378
四半期利益の帰属		
親会社の所有者		
継続事業	16,278	3,756
非継続事業	865	△ 17
合計	17,143	3,739
非支配持分		
継続事業	69	△ 361
非継続事業	△ 131	—
合計	△ 62	△ 361
四半期利益	17,081	3,378

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	167.61円	36.51円
継続事業	159.16円	36.67円
非継続事業	8.45円	△ 0.16円
希薄化後1株当たり四半期利益	167.57円	36.51円
継続事業	159.12円	36.67円
非継続事業	8.45円	△ 0.16円

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日 ～2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)
四半期利益	36,778	19,473
その他の包括利益(△損失)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
確定給付制度の再測定	△ 3	△ 9
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	402	△ 2,058
合計	399	△ 2,067
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 871	5,804
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	239	566
合計	△ 632	6,370
その他の包括利益(△損失)合計	△ 233	4,303
四半期包括利益	36,545	23,776
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	36,425	23,533
非支配持分	120	243
四半期包括利益	36,545	23,776

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日 ～2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年10月1日 ～2022年12月31日)
四半期利益	17,081	3,378
その他の包括損失		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
確定給付制度の再測定	△ 1	△ 3
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△ 1,252	1,016
合計	△ 1,253	1,013
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 62	△ 6,284
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	230	△ 841
合計	168	△ 7,125
その他の包括損失合計	△ 1,085	△ 6,112
四半期包括利益(△損失)	15,996	△ 2,734
四半期包括利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	15,990	△ 2,218
非支配持分	6	△ 516
四半期包括利益(△損失)	15,996	△ 2,734

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(2021年4月1日~2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付 制度の 再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	小計			
2021年4月1日残高	36,294	71,240	320,577	△ 3,532	—	9,954	△ 938	9,016	433,595	10,714	444,309
四半期利益			36,747					—	36,747	31	36,778
その他の包括損失					△ 3	403	△ 722	△ 322	△ 322	89	△ 233
四半期包括利益	—	—	36,747	—	△ 3	403	△ 722	△ 322	36,425	120	36,545
配当			△ 9,604					—	△ 9,604	△ 6	△ 9,610
自己株式の取得				△ 2				—	△ 2		△ 2
自己株式の処分		△ 37		484				—	447		447
株式報酬取引		64						—	64		64
その他		0						—	0	△ 60	△ 60
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替			56		3	△ 59		△ 56	—		—
所有者との 取引額等合計	—	27	△ 9,548	482	3	△ 59	—	△ 56	△ 9,095	△ 66	△ 9,161
2021年12月31日残高	36,294	71,267	347,776	△ 3,050	—	10,298	△ 1,660	8,638	460,925	10,768	471,693

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付 制度の 再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	小計			
2022年4月1日残高	36,294	71,272	360,900	△ 2,856	—	9,639	3,820	13,459	479,069	10,485	489,554
四半期利益			19,219					—	19,219	254	19,473
その他の包括利益					△ 9	△ 2,059	6,382	4,314	4,314	△ 11	4,303
四半期包括利益	—	—	19,219	—	△ 9	△ 2,059	6,382	4,314	23,533	243	23,776
配当			△ 10,437					—	△ 10,437	△ 11	△ 10,448
自己株式の取得				△ 2				—	△ 2		△ 2
自己株式の処分		△ 139		603				—	464		464
株式報酬取引		42						—	42		42
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替			1,211		9	△ 1,220		△ 1,211	—		—
所有者との 取引額等合計	—	△ 97	△ 9,226	601	9	△ 1,220	—	△ 1,211	△ 9,933	△ 11	△ 9,944
2022年12月31日残高	36,294	71,175	370,893	△ 2,255	—	6,360	10,202	16,562	492,669	10,717	503,386

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日 ～2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	49,109	25,174
非継続事業からの税引前四半期利益(△損失)	1,128	△ 408
減価償却費及び償却費	27,122	28,352
減損損失及びその戻入益	1,166	△ 1,594
生物資産の公正価値変動額	△ 586	322
金融収益及び金融費用	2,217	△ 608
事業の売却損益	—	478
営業債権及びその他の債権の増減	△ 62,610	△ 60,835
棚卸資産の増減	△ 18,640	△ 27,464
生物資産の増減	△ 6,362	856
その他の資産の増減	△ 2,571	△ 4,974
営業債務及びその他の債務の増減	30,809	24,231
その他の負債の増減	△ 2,175	△ 3,575
その他一純額	△ 4,092	△ 2,576
利息の受取額	228	1,094
配当金の受取額	1,006	6,208
利息の支払額	△ 849	△ 1,111
法人所得税の支払額	△ 20,193	△ 13,324
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,293	△ 29,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産等の取得	△ 34,862	△ 46,045
固定資産等の売却	416	1,184
定期預金の増減	4,023	△ 213
その他の金融資産の取得	△ 66	△ 53
その他の金融資産の売却及び償還	162	4,601
短期貸付金の増減	—	8,694
事業の売却に伴う収入	—	3,626
事業の売却に伴う支出	—	△ 3,166
その他一純額	△ 122	440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30,449	△ 30,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
現金配当	△ 9,610	△ 10,448
短期借入金金の増減	36,719	12,807
借入債務による調達	23,024	106,468
借入債務の返済	△ 38,809	△ 71,305
自己株式の取得	△ 2	△ 2
自己株式の売却	434	436
その他一純額	△ 61	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,695	37,956
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	170	1,753
超インフレの調整	—	978
現金及び現金同等物の増減額	△ 23,877	△ 19,999
期首現金及び現金同等物残高	83,831	85,374
四半期末現金及び現金同等物残高	59,954	65,375

## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## 1. セグメント情報

報告セグメントに関する情報

当社グループは、主として商品及び提供するサービスの性質に加えて販売又はサービスを提供する地域に応じて以下の3つの報告セグメントに区分し、経営管理を行っております。

- 加工事業本部 — 主に国内におけるハム・ソーセージ、加工食品、乳製品の製造・販売  
 食肉事業本部 — 主に国内における食肉の生産・販売  
 海外事業本部 — 主に海外子会社におけるハム・ソーセージ、加工食品、食肉及び水産物の生産・製造・販売

当社は、前第4四半期連結会計期間においてマリンフーズ株式会社及び同社の子会社等に関連する水産事業を非継続事業に区分しております。そのため、前第3四半期連結累計期間及び会計期間について組替表示しております。ただし、報告セグメントの加工事業本部には、非継続事業に区分した水産事業を含めております。

なお、当社グループは当社及び子会社68社、関連会社6社で構成されております。

前第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結 (非継続事業調整前)	非継続事業 へ振替	連結 (非継続事業調整後)
売上高									
外部顧客に対する売上高	362,396	474,639	105,946	8,944	951,925	1,314	953,239	△ 57,110	896,129
セグメント間の内部売上高	20,450	48,054	93,377	2,417	164,298	△ 164,298	-	-	-
計	382,846	522,693	199,323	11,361	1,116,223	△ 162,984	953,239	△ 57,110	896,129
セグメント利益(△損失)	14,133	30,460	2,209	△ 208	46,594	△ 2,464	44,130	△ 2,263	41,867

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結 (非継続事業調整前)	非継続事業 へ振替	連結 (非継続事業調整後)
売上高									
外部顧客に対する売上高	299,792	519,574	144,128	10,659	974,153	11,950	986,103	-	986,103
セグメント間の内部売上高	21,028	50,616	106,486	2,408	180,538	△ 180,538	-	-	-
計	320,820	570,190	250,614	13,067	1,154,691	△ 168,588	986,103	-	986,103
セグメント利益(△損失)	6,002	22,566	△ 2,670	1,231	27,129	△ 2,404	24,725	-	24,725

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、球団事業及び新規事業等であります。  
 2. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去他が含まれております。  
 3. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。  
 これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。  
 4. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。  
 5. 前第3四半期連結累計期間において加工事業本部に含まれるマリンフーズ株式会社及び同社の子会社等の売上高、損益等を「非継続事業へ振替」において組替えを行っております。

前第3四半期連結会計期間(2021年10月1日～2021年12月31日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結 (非継続事業調整前)	非継続事業 へ振替	連結 (非継続事業調整後)
売上高									
外部顧客に対する売上高	132,253	174,923	40,068	2,330	349,574	300	349,874	△ 22,863	327,011
セグメント間の内部売上高	7,593	17,941	31,472	795	57,801	△ 57,801	-	-	-
計	139,846	192,864	71,540	3,125	407,375	△ 57,501	349,874	△ 22,863	327,011
セグメント利益(△損失)	7,136	12,651	1,581	△ 639	20,729	△ 851	19,878	△ 1,138	18,740

当第3四半期連結会計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結 (非継続事業調整前)	非継続事業 へ振替	連結 (非継続事業調整後)
売上高									
外部顧客に対する売上高	108,970	189,428	47,335	1,760	347,493	4,586	352,079	-	352,079
セグメント間の内部売上高	7,831	19,110	33,931	769	61,641	△ 61,641	-	-	-
計	116,801	208,538	81,266	2,529	409,134	△ 57,055	352,079	-	352,079
セグメント利益(△損失)	4,668	8,346	△ 1,734	△ 697	10,583	△ 1,062	9,521	-	9,521

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、球団事業及び新規事業等であります。
2. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去他が含まれております。
3. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
4. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。
5. 前第3四半期連結会計期間において加工事業本部に含まれるマリンプーズ株式会社及び同社の子会社等の売上高、損益等を「非継続事業へ振替」において組替えを行っております。

## 2. 非継続事業に関する注記

### 1) 非継続事業の概要

当社は、2022年2月9日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるマリンプーズ株式会社(以下、「マリンプーズ」という。)の全株式及び関連する資産を、双日株式会社に譲渡することを決議し、2022年3月31日に株式譲渡が完了いたしました。

これにより、前第4四半期連結会計期間よりマリンプーズに関連する水産事業を非継続事業に分類しております。

### 2) 子会社の名称、事業内容及び当該子会社が含まれていたセグメントの名称

子会社の名称	マリンプーズ株式会社
事業内容	水産加工食品の製造販売及び水産原料の輸入販売
セグメントの名称	加工事業本部

### 3) 売却した株式の数、売却後の持分比率、売却損益

売却前の所有株式数	22,666,000株 (議決権の数: 22,666,000個) (議決権所有割合: 100.0%)
売却した株式数	22,666,000株 (議決権の数: 22,666,000個)
売却後の持分比率	—株 (議決権の数: —個) (議決権所有割合: —%)

## 4) 非継続事業からの損益

非継続事業からの損益は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日 ～2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)
売上高	57,110	—
事業の売却損益(注)	—	△408
その他の損益	△55,982	—
非継続事業からの税引前四半期利益(△損失)	1,128	△408
法人所得税費用	△701	87
非継続事業からの四半期利益(△損失)	427	△321

(注) 当第3四半期連結累計期間において非継続事業に分類された事業の売却損益は、マリンフーズの株式譲渡契約に基づく同社株式の譲渡価額の調整によるものであります。

## 3. 重要な後発事象

当社は、2023年1月31日開催の取締役会において、当社の連結子会社である Breeders & Packers Uruguay S.A. 社(以下、「BPU」といいます。)の全株式を、Minerva S.A. に譲渡すること(以下、「本件譲渡」といいます)を決議いたしました。

## 1) 本件譲渡の理由

当社は、最適ポートフォリオの構築に取り組む中で、BPUが事業基盤と強みを活かしつつ、今後一層成長していくためには、新たなパートナーとともに事業を行うことが最適と判断いたしました。

## 2) 異動する子会社(BPU)の概要

子会社の名称	Breeders & Packers Uruguay S.A.
所在地	ウルグアイ東方共和国 ドゥラスノモンテビデオ
事業内容	食肉処理及び販売(牛肉)

## 3) 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況等

異動前の所有株式数	1,797,343,133株 (議決権の数：1,797,343,133個) (議決権所有割合：100.0%)
譲渡株式数	1,797,343,133株 (議決権の数：1,797,343,133個)
譲渡価額	企業価値40百万米ドル(52億円)に、BPUの純有利子負債や運転資本などの本件譲渡契約に定める価格調整を行い、実際の譲渡価額を決定いたします。
異動後の所有株式数	一株 (議決権の数：一個) (議決権所有割合：—%)

※円換算額は、1米ドル=130円で計算した参考値です。

なお、最終的な譲渡価額は、本件譲渡契約に定める株式譲渡実行時の価格調整を反映して修正されるため、本件譲渡に伴い発生する譲渡損益の金額等は未定です。



2023年3月期第3四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

2023年1月

注) 本補足資料におきましては、2022年3月期第4四半期に非継続となった事業について、2022年3月期第3四半期の数値を一部組替えて表示しております。

## I ハイライト情報

《連結決算》

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期 (実績)	2022年3月期 第3四半期 (実績)	2023年3月期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (計画)
売上高	902,988	896,129	986,103	10.0%	1,174,389	1,270,000
売上総利益	167,982	159,491	140,286	△ 12.0%	200,028	
事業利益	43,914	44,130	24,725	△ 44.0%	48,116	22,000
税引前四半期(当期)利益	44,370	49,109	25,174	△ 48.7%	51,366	22,000
親会社所有者帰属持分 四半期(当期)利益	28,511	36,747	19,219	△ 47.7%	48,049	17,000

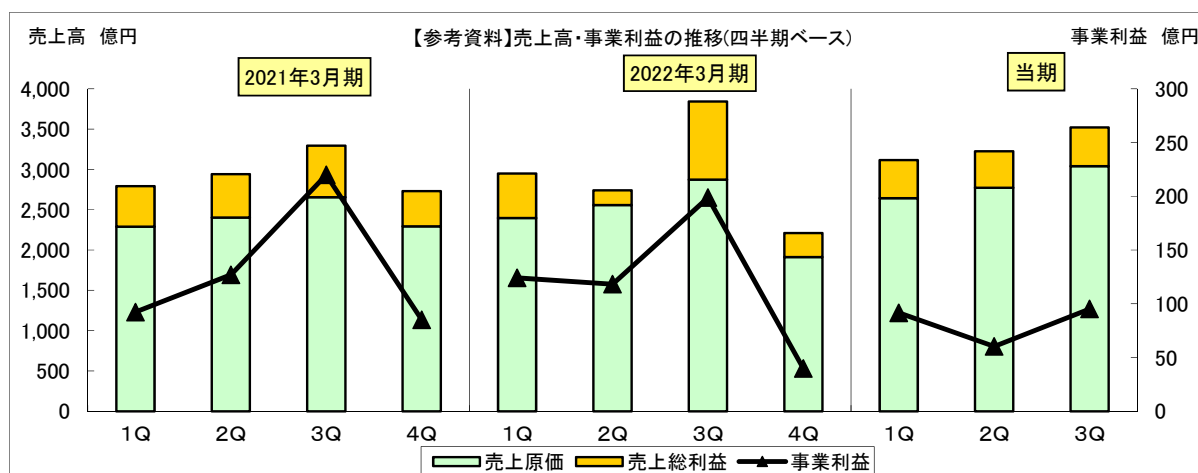
(注)2021年3月期第3四半期は非継続事業を含めて記載しております。

売上高総利益率	18.6%	17.8%	14.2%
売上高事業利益率	4.9%	4.7%	2.5%
親会社所有者帰属持分当期 (四半期)利益率(ROE)	6.9%	8.2%	4.0%
投下資本利益率(ROIC)	4.9%	4.6%	2.3%

	17.0%
	3.9%
	10.5%
	5.0%
	1.7%
	3.5%
	2.1%

(注)2021年3月期第3四半期は非継続事業を含めて記載しております。

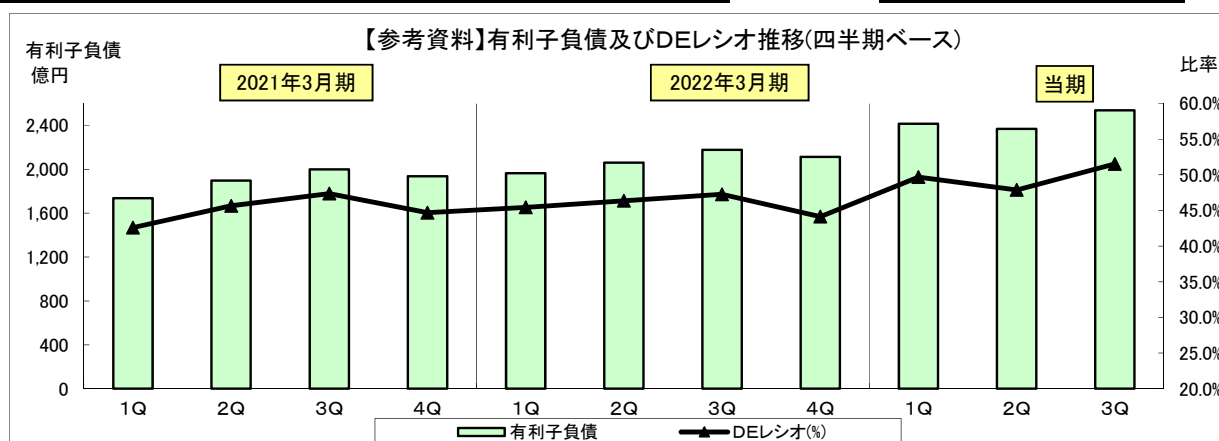
売上高事業利益率は、非継続事業調整後の事業利益を用いて算出しております。



(単位：百万円)

	2021年3月期第3 四半期(実績)	2022年3月期第3 四半期(実績)	2023年3月期第3 四半期(実績)
総資産	827,019	902,437	984,219
親会社所有者帰属持分	422,262	460,925	492,669
有利子負債	199,993	217,844	253,865
D / E レシオ	0.47	0.47	0.52
設備投資額	54,034	44,167	47,305
減価償却費	25,301	27,057	28,313

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (計画)
総資産	909,213	
親会社所有者帰属持分	479,069	
有利子負債	211,407	
D / E レシオ	0.44	
設備投資額	80,395	76,800
減価償却費	36,379	38,700



## II セグメント情報

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日～2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日～2022年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	362,396	94.7%	299,792	93.4%	△ 62,604	△ 17.3%
セグメント間の内部売上高	20,450	5.3%	21,028	6.6%	578	2.8%
売上高合計	382,846	100.0%	320,820	100.0%	△ 62,026	△ 16.2%
セグメント利益	14,133	3.7%	6,002	1.9%	△ 8,131	△ 57.5%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	474,639	90.8%	519,574	91.1%	44,935	9.5%
セグメント間の内部売上高	48,054	9.2%	50,616	8.9%	2,562	5.3%
売上高合計	522,693	100.0%	570,190	100.0%	47,497	9.1%
セグメント利益	30,460	5.8%	22,566	4.0%	△ 7,894	△ 25.9%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	105,946	53.2%	144,128	57.5%	38,182	36.0%
セグメント間の内部売上高	93,377	46.8%	106,486	42.5%	13,109	14.0%
売上高合計	199,323	100.0%	250,614	100.0%	51,291	25.7%
セグメント利益 (△損失)	2,209	1.1%	△ 2,670	△ 1.1%	△ 4,879	—
その他						
外部顧客に対する売上高	8,944	78.7%	10,659	81.6%	1,715	19.2%
セグメント間の内部売上高	2,417	21.3%	2,408	18.4%	△ 9	△ 0.4%
売上高合計	11,361	100.0%	13,067	100.0%	1,706	15.0%
セグメント利益 (△損失)	△ 208	△ 1.8%	1,231	9.4%	1,439	—
消去調整他						
売上高	△ 162,984		△ 168,588		△ 5,604	
セグメント利益	△ 2,464		△ 2,404		60	
連結(非継続事業調整前)						
売上高合計	953,239	100.0%	986,103	100.0%	32,864	3.4%
セグメント利益	44,130	4.6%	24,725	2.5%	△ 19,405	△ 44.0%
非継続事業へ振替						
売上高合計	△ 57,110		—		57,110	
セグメント利益	△ 2,263		—		2,263	
連結(非継続事業調整後)						
売上高合計	896,129	100.0%	986,103	100.0%	89,974	10.0%
セグメント利益	41,867	4.7%	24,725	2.5%	△ 17,142	△ 40.9%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日～2021年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2022年10月1日～2022年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	132,253	94.6%	108,970	93.3%	△ 23,283	△ 17.6%
セグメント間の内部売上高	7,593	5.4%	7,831	6.7%	238	3.1%
売上高合計	139,846	100.0%	116,801	100.0%	△ 23,045	△ 16.5%
セグメント利益	7,136	5.1%	4,668	4.0%	△ 2,468	△ 34.6%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	174,923	90.7%	189,428	90.8%	14,505	8.3%
セグメント間の内部売上高	17,941	9.3%	19,110	9.2%	1,169	6.5%
売上高合計	192,864	100.0%	208,538	100.0%	15,674	8.1%
セグメント利益	12,651	6.6%	8,346	4.0%	△ 4,305	△ 34.0%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	40,068	56.0%	47,335	58.2%	7,267	18.1%
セグメント間の内部売上高	31,472	44.0%	33,931	41.8%	2,459	7.8%
売上高合計	71,540	100.0%	81,266	100.0%	9,726	13.6%
セグメント利益 (△損失)	1,581	2.2%	△ 1,734	△ 2.1%	△ 3,315	—
その他						
外部顧客に対する売上高	2,330	74.6%	1,760	69.6%	△ 570	△ 24.5%
セグメント間の内部売上高	795	25.4%	769	30.4%	△ 26	△ 3.3%
売上高合計	3,125	100.0%	2,529	100.0%	△ 596	△ 19.1%
セグメント損失	△ 639	△ 20.4%	△ 697	△ 27.6%	△ 58	—
消去調整他						
売上高	△ 57,501		△ 57,055		446	
セグメント利益	△ 851		△ 1,062		△ 211	
連結(非継続事業調整前)						
売上高合計	349,874	100.0%	352,079	100.0%	2,205	0.6%
セグメント利益	19,878	5.7%	9,521	2.7%	△ 10,357	△ 52.1%
非継続事業へ振替						
売上高合計	△ 22,863		—		22,863	
セグメント利益	△ 1,138		—		1,138	
連結(非継続事業調整後)						
売上高合計	327,011	100.0%	352,079	100.0%	25,068	7.7%
セグメント利益	18,740	5.7%	9,521	2.7%	△ 9,219	△ 49.2%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

## 【参考情報～海外事業本部の内訳】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日～2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日～2022年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	19,274	40.3%	24,853	47.1%	5,579	28.9%
セグメント間の内部売上高	28,597	59.7%	27,891	52.9%	△ 706	△ 2.5%
売上高合計	47,871	100.0%	52,744	100.0%	4,873	10.2%
セグメント損失	△ 6	△ 0.0%	△ 678	△ 1.3%	△ 672	—
米州						
外部顧客に対する売上高	19,205	25.5%	25,949	27.3%	6,744	35.1%
セグメント間の内部売上高	56,053	74.5%	69,127	72.7%	13,074	23.3%
売上高合計	75,258	100.0%	95,076	100.0%	19,818	26.3%
セグメント利益	1,070	1.4%	1,131	1.2%	61	5.7%
豪州						
外部顧客に対する売上高	67,468	86.4%	93,326	88.9%	25,858	38.3%
セグメント間の内部売上高	10,622	13.6%	11,700	11.1%	1,078	10.1%
売上高合計	78,090	100.0%	105,026	100.0%	26,936	34.5%
セグメント利益 (△損失)	1,837	2.4%	△ 2,286	△ 2.2%	△ 4,123	—

(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日～2021年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2022年10月1日～2022年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	6,962	41.2%	7,342	49.2%	380	5.5%
セグメント間の内部売上高	9,938	58.8%	7,574	50.8%	△ 2,364	△ 23.8%
売上高合計	16,900	100.0%	14,916	100.0%	△ 1,984	△ 11.7%
セグメント利益 (△損失)	88	0.5%	△ 383	△ 2.6%	△ 471	—
米州						
外部顧客に対する売上高	6,617	26.0%	8,493	26.5%	1,876	28.4%
セグメント間の内部売上高	18,818	74.0%	23,538	73.5%	4,720	25.1%
売上高合計	25,435	100.0%	32,031	100.0%	6,596	25.9%
セグメント利益	417	1.6%	717	2.2%	300	71.9%
豪州						
外部顧客に対する売上高	26,490	87.7%	31,500	90.8%	5,010	18.9%
セグメント間の内部売上高	3,711	12.3%	3,180	9.2%	△ 531	△ 14.3%
売上高合計	30,201	100.0%	34,680	100.0%	4,479	14.8%
セグメント利益 (△損失)	1,308	4.3%	△ 1,768	△ 5.1%	△ 3,076	—

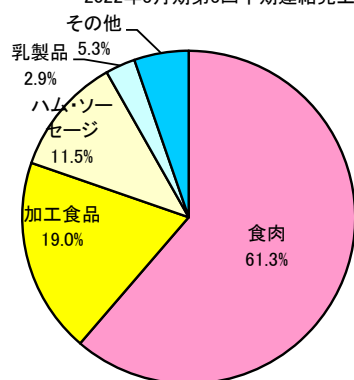
(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

## Ⅲ 連結売上内訳

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期 (実績)		2023年3月期 第3四半期 (実績)		対前年同期 増減率	2022年3月期 (実績)		2023年3月期 (計画)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
ハム・ソーセージ	102,663	11.5%	101,502	10.3%	△ 1.1%	131,147	11.2%	130,000	10.3%
加工食品	170,710	19.0%	179,350	18.2%	5.1%	224,976	19.2%	235,000	18.5%
食肉	549,662	61.3%	622,515	63.1%	13.3%	722,843	61.5%	799,000	62.9%
乳製品	26,002	2.9%	27,533	2.8%	5.9%	35,214	3.0%	37,000	2.9%
その他	47,092	5.3%	55,203	5.6%	17.2%	60,209	5.1%	69,000	5.4%
合計	896,129	100.0%	986,103	100.0%	10.0%	1,174,389	100.0%	1,270,000	100.0%

2022年3月期第3四半期連結売上構成比



2023年3月期第3四半期連結売上構成比

